



森市長 からの メッセージ



みなさん、こんにちは。

ようやく朝夕に秋の気配を感じるようになりました。健やかに過ごされていますか。今月号のテーマはひきこもりです。孤高と孤立という言葉があります。「孤高」が自らの意志で独立した境遇を選ぶことに対し、「孤立」は社会的なつながりが断ち切られる状態です。どのような生き方をするかは個人の自由ですが、ひきこもっている人々の中には、より社会に参加していきたいという希望を内に持っていることも多いのです。ひきこもりは、不登校という形で現れる子どもの時期から高齢に至るまで、年齢を問わず大きな課題です。私は、大阪大学時代に、壮年から高齢期に至るまでの孤立死に関する研究をしていました。本市でも、寄り添う、居場所につなげる、手に職をつけていただく、仕事に就いていただくなど、面で広がる政策を浸透させたいと思っています。

森 尚太郎